

2022 年度実施概要

学校名

気仙沼市立中井小学校

採択活動名

ふるさとの海を利用する方法を考えよう

実施単元

単元名	学年	教科
1. ふるさとの漁業を調べよう	5	総合
2. 水産業のさかんな地域	5	社会
3. 漁を体験しよう	5	総合

取り組みの概要

本校第5学年では、「見つめよう！ふるさとの海～私たちを取りまく世界～」を大テーマとして、海に関する学習を進めている。その中で、地元唐桑の海に親しみ、利用する学習を取り入れている。

「海洋リテラシーfor 気仙沼」における「D 海をいかす c 地域の漁業や養殖業のあり方を知り、その歴史や文化、技術を尊重する」ことと関連させ、まず、気仙沼市海洋教育副読本を活用し、地元の漁などを調べた。気仙沼で水揚げされる魚や漁業のことを知ることができた。「漁業について更に詳しく知りたい」という思いを子供たちが持ったので、「気仙沼の魚を学校給食に普及させる会」と連携し、地元漁師である小野寺庄一さんをゲストティーチャーに招き、「突きん棒漁」について、また、普及させる会の方々からは、「魚食」のことについて講話をいただいた。児童は、地元の漁や魚料理について知り、一層海に対する興味・関心を高めていた。



次に、社会科の学習で、気仙沼だけではなく、全国の水揚げや漁業などについても広く学ぶことができた。その際、暖流と寒流や大陸棚といった、三陸沖で漁業が盛んである理由と結び付けながら学習を深めることができた。

更に、総合的な学習の時間に中井公民館と連携し、「定置網起こし体験」を行った。これまでに学習してきたことを踏まえて、子供たちは魚の水揚げ方法や漁師さんたちの努力とその思いを体験を通して感じる事ができた。知識としてだけではなく、実体験として子供たちは様々なことを感じ取った。子供たちは、「たくさん水揚げされた」と喜んでいましたが、「水揚げ漁は少なくなってきた」という話を聞き、海の環境の変化も感じる事ができた。定置網起こし体験の活動を通して、海洋リテラシーfor 気仙沼」の考えにおける「B 海の恵みを知る」ことを学ぶことができた。



これらの体験を通して、子供たちは、一層海に親しみ、海と一緒に生きていくことを実感することができた。将来「漁師になりたい」と考えている児童もあり、価値のある学習になった。